

日本の仏教を代表する【13宗派】を紹介

[https://biz.trans-suite.jp/9059#:~:text=【浄土宗\(じょうどしゅう\),浄土三部経】です。](https://biz.trans-suite.jp/9059#:~:text=【浄土宗(じょうどしゅう),浄土三部経】です。)

❖奈良仏教系／南都六宗系

法相宗 (ほっそうしゅう)	玄奘(げんじょう)がインドの唯識派の思想を翻訳紹介し、弟子の基(き)によって確立されたのが法相の教学です。日本では、七世紀半ばに玄奘に師事した道昭が法興寺で広め、南都六宗の一つとして8～9世紀に興隆しました。
華嚴宗 (けごんしゅう)	日本における開祖は、金鐘寺(後の東大寺)の招きを受けた中国の審祥で、その思想が反映された東大寺盧舎那仏像(奈良の大仏)が建立されました。華嚴宗は本尊を歴史上の仏陀を超えた絶対的な仏の毘盧遮那仏とし、『華嚴経』を究極の経典として、独自の教学体系を樹立した宗派です。その独特で難解な思想のため、勢いは徐々に衰えてゆきました。
律宗 (りっしゅう)	律宗は、戒律の実践を行う中国の仏教の一派で、753年に唐から来日した鑑真が東大寺に戒壇を開きました。後に唐招提寺を総本山として、今日まで戒律の研究が続いています。

❖平安仏教系／密教系の2派

天台宗 (てんだいしゅう)	天台宗の開祖は「最澄」です。本尊は「釈迦牟尼仏」で、重要な経典は『法華経』です。天台宗は現代の日本仏教の原点となっています。
真言宗 (しんごんしゅう)	真言宗の開祖は「空海」です。本尊は「大日如来」で、重要な経典は『大日経』『金剛頂経』です。空海は密教の第一人者として平安時代に活躍しました。

❖浄土系の4派

浄土宗 (じょうどしゅう)	浄土宗の開祖は「法然」です。本尊は「阿弥陀如来」で、重要な経典は『浄土三部経』です。法然は「南無阿弥陀仏」と唱える「専修念仏」を説きました。
浄土真宗 (じょうどしんしゅう)	浄土真宗の開祖は法然の弟子の「親鸞(しんらん)」です。本尊は「阿弥陀如来」で、重要な経典は『浄土三部経』です。法然は阿弥陀如来への「絶対他力」の信仰を説きました。後に「蓮如」が本願寺を興隆させ、親鸞の教えを広めました。
融通念仏宗 (ゆうずうねんぶつしゅう)	融通念仏宗の開祖は「良忍(りょうにん)」です。良忍は天台宗の僧侶で、平安時代末期に「1人の念仏が万人の念仏に通じる」という融通念仏を創出し、結縁した人々の名を記入する名帳を携えて各地で布教を行いました。
時宗 (じしゅう)	時宗の開祖は「一遍(いっぺん)」です。時宗では、和歌や和讃によるわかりやすい教えとともに、阿弥陀仏を信じなくとも念仏さえ唱えれば往生できると説き、仏教を庶民に広げました。

❖法華系の1派

日蓮宗 (にちれんしゅう)	日蓮宗の開祖は「日蓮」です。重要な経典は『法華経』で、「南無妙法蓮華経」を唱える法華信仰を広めました。日蓮は天台宗から分派して日蓮宗を興しました。
------------------	---

❖禅宗系の3派

曹洞宗 (そうとうしゅう)	曹洞宗の開祖は「道元」で、ひたすら座り続ける修行である「只管打坐」と、座禅を行うことが則ち悟りであるとする「修証一如」を説きました。
臨済宗 (りんざいしゅう)	臨済宗の開祖は「栄西」です。栄西は公案(悟りのための課題)を用いた座禅の修行である「看話禅」(公案禅)を日本に取り入れました。
黄檗宗 (おうばくしゅう)	黄檗宗の開祖は「隠元(いんげん)」です。日本の三禅宗のうちでもっとも遅く江戸時代に始まった宗派です。隠元は明から来日した臨済宗派の僧侶で、当初は臨済禅宗黄檗派と名乗っていましたが、明治に入ってから黄檗宗として独立しました。教義や修行方法などは、日本臨済宗と同じとされています。

- ❖ 「最澄」とは？「空海」との違いを比較！天台宗や思想も説明
- ❖ 「密教」とは何か？その教えや顕教との違いもわかりやすく解説！
- ❖ 「法然」の思想とは？その生涯や弟子の親鸞との違いも解説
- ❖ 「一遍」と「時宗」とは？「踊念仏」の意味と名言や特徴も紹介
- ❖ 「日蓮」の教えと「法華経」とは何か？日蓮の生涯や日蓮宗も解説
- ❖ 「道元」の思想とは？著書「正法眼蔵」や名言と言葉も紹介
- ❖ 「栄西」と茶の関係は？禅宗や臨済宗と著書「喫茶養生記」も解説